

産業能率大学 情報マネジメント学部

| | | | |
|---|---|---------|--|
| デジタル文化とコンテンツ | 履修年次 | 3・4 | |
| | 単位 | 2 | |
| 川野邊 誠、小田 実、北川 博美 | 配当期 | 後 | |
| | 授業方法 | 講義 / 対面 | |
| 授業の内容 | | | |
| <p>[授業の概要]</p> <p>「デジタル技術と人間」: デジタルという言葉は誰もが知っている一般的な言葉である。では、デジタル表現とは何か、その仕組みを知っているだろうか。ここでは、アナログとデジタルの違いを解説した上で、最新のデジタル技術と人間の関わり方について解説する。講義を通して、デジタル技術が持つ優位性と危険性を理解し、デジタル技術をどのように活用していくかを考える。</p> <p>「デジタル・アーカイブ」: 一般的にはデジタル技術を利用した情報の保存と利用をいう。今はさまざまな情報のアーカイブ活動が盛んになっているが、その中でも主に文化財をデジタル・アーカイブすることを取り上げ、いくつかの事例を紹介するとともに、その背景にあるデジタル化の技術について解説する。また、文化財をデジタル・アーカイブする意味や今後の課題を考えていく。</p> <p>「デジタル・ネイティブ」: 社会のデジタル化が進んだ段階で生まれ育ってきたデジタル・ネイティブと呼ばれる世代について、表面上の定義をトレースするのではなく、その本質について理解し考察する。デジタル・ネイティブとしてカテゴライズされ、社会から期待されている人材として、実際に Global Business で活躍できるデジタル・ネイティブとなる方法についても考えていく。</p> | | | |
| この科目の到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術が応用されるさまざまな分野についての教養を深め、視野を広げることができる。 ・自分が生きている時代と、その背景となる社会の出来事に関心を持ち、デジタル技術がどのように関わっているかを理解できる。 ・社会のデジタル化がもたらした思考や行動への影響を身近な環境や行動を通じて理解を深めることができる。 | | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| <p>毎回の授業に出席することを前提とする。3 つのテーマについて、レポートを提出することが単位取得の条件となる。また、授業外学習として毎回の講義の要点・知見をまとめ manaba に提出することを課す。</p> | | | |
| 週 | 授業項目 | 週 | 授業項目 |
| 1 | ガイダンス | 8 | デジタル・アーカイブ 3 デジタル・アーカイブの技術 |
| 2 | デジタル技術と人間 1 情報技術革新とコンテンツ・アナログ情報とデジタル情報 | 9 | デジタル・アーカイブ 4 デジタル・アーカイブのこれから |
| 3 | デジタル技術と人間 2 人の感覚とマルチモーダル技術開発の現状 | 10 | デジタル・ネイティブ 1 デジタル・ネイティブとは何か |
| 4 | デジタル技術と人間 3 人の感覚と直感的アクセス | 11 | デジタル・ネイティブ 2 デジタル・ネイティブの本質 |
| 5 | デジタル技術と人間 4 サイバネティクス、ロボティクスと人間社会 | 12 | デジタル・ネイティブ 3 Global で活躍するデジタル・ネイティブ |
| 6 | デジタル・アーカイブ 1 記憶・記録とデジタル表現 | 13 | デジタル・ネイティブ 4 Business を加速するデジタル・ネイティブ |
| 7 | デジタル・アーカイブ 2 アートと文化財、デジタル・アーカイブとは | 14 | 全体のまとめ |